

チゲット好評発売中!



もう、アートの祭りだ!

萩原朔美・榎本了壺の世田谷美術館での展覧会が昨年 12月から始まりました。萩原は初期作品から、映像、一連の定点観測まですごい点数。榎本は 2016年にギンザ・グラフィック・ギャラリーで発表した澁澤龍彦「高丘親王航海記」をテーマにした約100点ほど(書画はコピーではなく現物展示です)。渋谷天井桟敷での出会いから始まって、雑誌「ビックリハウス」編集の日々。もう 55年になろうかという交友の最終章? 確かに「二人展」は最初にして最後のものになるかと思えます。「それぞれのふたり」というタイトルも絶妙、見比べればこんなに違うふたりだから、喧嘩することもなく付き合ってきたのだと思います。そして長い交友の人たちを集まっていたく関連イベントが、2月から6回開催されます。ということで、ぜひご来館お待ちしております。(萩原朔美・榎本了壺)

2023年2月4・11・18・25日・4月8・9日

時間◆各日 15:00~17:00 (開場 14:30)

会場◆世田谷美術館 講堂 (東京都世田谷区砧公園 1-2)

定員◆先着 63人 料金◆各 2,200円 (展覧会入場券含む)

申込はこちら↓

<https://www.setagayaartmuseum.or.jp/exhibition/collection/detail.php?id=col00116>

イベント申込先

展覧会詳細



世田谷美術館 ミュージアム コレクションⅢ それぞれのふたり 萩原朔美と榎本了壺
 開催中~2023年4月9日(日) 10:00~18:00 月曜日休館 料金◆一般200円ほか



トーク ◆ 第1回 日本グラフィック展からダンボールアート少年が躍り出た！

2月4日(土)

ゲスト：日比野克彦
ホスト：萩原朔美・榎本了吉

萩原・榎本が企画した PARCO 主催「第3回日本グラフィック展」(1982年)の大賞受賞者が、当時東京藝大大学院生の日比野克彦さんだった。そして世界的なニュー・ペインティング現象に同機して、あっという間にアート界の寵児になった。あれから40年、日比野さんは今や東京藝術大学学長である。アートの世界のこれからなど、いろいろ語りあう。



トーク ◆ 第2回 突然！笑いながら怒る男が来た！

2月11日(土) **完売**

ゲスト：竹中直人
ホスト：萩原朔美・榎本了吉

渋谷パルコにあった「ビックリハウス」編集室に、世にも奇妙な男がやって来た。突然笑いながら怒るかと思えば、芥川龍之介になったり、ブルース・リー、松田優作になった。多摩美の学生で、映画を作っているという。竹中直人さんだった。「エビゾリングショウ」でとんねるずの二人を抑えてグランプリに。映画のこと、演劇のこと、話はどこに飛んでいくか。



トーク ◆ 第3回 ビックリハウスでムーンライダーズやヒカシューが遊んだ！

2月18日(土) **完売**

ゲスト：鈴木慶一・巻上公一
高橋章子
ホスト：萩原朔美・榎本了吉

高橋章子が「ビックリハウス」2代目編集長になると、音楽関係の筆者が急増した。アッコちゃんは「音痴」だったが「人痴」ではなかった。原宿にあった「カルデサック」で夜ごと飲んだ。YMOもいた。そんな時代の空気を今どうやって話そう。ともかくそんな話を懐かしがりながら、ケーイチさん、マキガミさんのミニライブへと、盛り上がっていきよう。



トーク ◆ 第4回 名物かいぶつ祭り(句会かいぶつ達のおもて芸大会)

2月25日(土)

出演：金原亨世之介・蛭川有紀
阿部知代・サエキけんぞう
高遠彩子・笹公人・新井高子ほか
ホスト：榎本了吉

2001年に始まる「かいぶつ句会」は、詩人歌人、俳優、画家、大学教授、ミュージシャン、アナウンサーなど、文化人?が集まる俳句会。「真面目に遊ぶ」この句会は、年に一度「名物かいぶつ祭」というおもて芸大会を開催してきました。今回は美術館での開催ということで、一同頑張っています。他の同人達も、「一句紹介」で登場します。



トーク ◆ 第5回 梅スタという映像秘密基地があった！

4月8日(土)

上映作家：かわなかのぶひろ
山崎博・安藤紘平・萩原朔美
榎本了吉
ゲスト：安藤紘平
ホスト：萩原朔美・榎本了吉

1970年初頭、幻の「家族商会活動所」という映像制作集団を萩原が立ち上げた。その秘密制作基地になったのが、梅ヶ丘の萩原の家だった。一台のボレックスを使い回し、手持ちの8ミリカメラで制作に没頭する。日本の実験映画、個人映画の一面を形成する。その後5人全員が大学教授に。今回は、必見！懐かしのアンソロジー大会となる。



リーディング ◆ 第6回 萩原朔太郎や寺山修司、清水邦夫、萩原葉子を声で立ち上がらせる

4月9日(日)

キャスト：萩原朔美・萩原玲子
柳沢三千代・加藤忠可・秋元紀子
鎮西猛
ホスト：萩原朔美・榎本了吉

黙読は、よく理解できる。音読は、心に届く。詩人の吉増剛造さんの説だ。朗読すると、言葉が持っている意外な顔が現れてきて面白い。寺山さんは、ゲーテンベルクが詩人に猿ぐつわをはめたと言っていた。朔太郎は、朗吟するための詩を書いた。読み手が自分の解釈で、自由に詩を朗読してみる。そうすることで、「言葉の素顔」が見えるかも。チャレンジします。立ち会って下さい。お待ちしております。

[主催] アタマトテ・インターナショナル、世田谷美術館 [お問い合わせ] 世田谷美術館 TEL.03-3415-6011(代) イベント申込先 美術館 MAP

[注意事項]

・全席指定/消費税込 ・未就学児入場不可 ・新型コロナウイルスの影響により内容が変更となる場合があります ・手話通訳付
・当日のみ、チケットの提示により、「萩原朔美と榎本了吉」展をご覧いただけます。2階受付でチケット番号をお伝えください。

世田谷美術館(東京都世田谷区砧公園1-2)

最寄駅: 田園都市線有賀駅より徒歩17分/小田急線成城学園前駅、千歳船橋駅、田園調布駅よりバスあり

